



A VOICE FOR ANIMALS

No. 8

Winter 1992

Working Together for the Same End

In a previous newsletter we stressed the need for a network between people who love and want to help animals and those who are actively caring and working for them. The Tenri case has shown up our network limitations and how much further we need to go to achieve results.

There are small groups all over Japan each struggling in their own way to rescue or improve conditions for animals. Often they are supported by a handful of over-worked, under-funded and well-meaning people. But however hard they work the results are always the same because they are overwhelmed by numbers. The more animals that are

rescued, the more there are to rescue. There is no end.

We have to divert our energies to tackle the basic reasons why so many stray, abused animals exist; why so many unwanted abandoned animals are killed by the authorities every year. We should look beyond the results to the causes.

The law and neutering are key points we should focus on.

All of us working for animals, whatever our ideologies, methods or differences, are basically united in our objectives - to stop the suffering and to create a better world for animals.

Divided we are weak, united we can achieve much.

一人一人の力を結集しよう

前号で、私達は動物を愛したり救いたいと思う人々、動物のために活動している人々のネットワークが大事だということを強調しました。しかし天理市での事件は、私達だけでは限界があること、そして目的に達するのがどんなに遠いかを見せつけられました。

日本中に動物を助けたり、悲惨な現状を改善しようとする小さなグループがいっぱいあります。それらはきつい仕事でも、お金がなくても、善意の人々によって支えられています。しかしどんなに頑張っても、圧倒的な動物の数という限界に突き当たるのです。救っても救ってもきりがありません。

そこで、なぜ捨てられるのか、なぜ虐待されるのか、なぜ毎年たくさんの望まれない動物が行政の手で殺処分されるのか、元々の理由を探る方向に転換すべきではないでしょうか。私達は結果の前にある原因を直視すべきです。

「法律」と「不妊手術」こそ、私達が進めるべきキーポイントといえるでしょう。

動物のために活動する人なら誰でも、イデオロギーや方法の違いにかかわらず、目的のために協力すべきではないでしょうか。今のひどい状況を止めるためにも。動物のためにより良い世界をつくるためにも。

私達一人一人は弱くても、協力すれば目的を達成できるのです。

— ご注意ください! —

最近 エーエス コ・オペレーション (またはアニマル サポート コ・オペレーション) という団体が、自らを ARK CLUB (アーク クラブ) と称し、ARK からこの度独立し、アニマル カントリー (動物村) という名を冠して、ARK と同様の動物愛護の活動を始める由の広報活動をしています。特に「ARK CLUB 移転変更のお知らせ」という告知状は、ARK 代表のオリバーさんの名を無断で使用しているばかりでなく、あたかも「ARK CLUB」が今まで我が ARK の一部であったかのような、紛らわしい印象を故意に与えるものです。その様な事実は全くなく、また ARK はこの団体とは理念・活動その他一切関係ありません。従ってトラブルを避けるため細心のご注意をお願いいたしたくご報告申し上げます。(尚、私たちは従来どおり変わらず、皆様方のご協力、お力添えのもとに頑張っております。)



Vanessa p.4 ヴァネッサ